

・発表内容詳細

B班 池田(南桜,総務部長,青指) 高橋(青木,防災,総務部)
樋川(西松本,総務部,青指)
事務局 武本

B班もA班と重複するところは多いです。

・ボランティアを始めたきっかけ。

①ボランティアの支えを受けた事で、その有り難みを強く感じた点が挙げられた。

ちなみに、青木町内会の高橋さんは様々なボランティア活動をされてることがわかりました。主に「東京2020」とか「東京マラソン」等のスポーツボランティアになります。ご自身がイベントに参加されて、その裏側が見えた事がとても良かったと。

②次に一番多かったのは町内会関連です。町内会で、イベントに参加した際に、少し手伝ったら、そのままの流れで他の役職がドンドン増えていったというケースが一番多いようでした。どの町内会もそうだと思いますが、町内会の高齢化に伴う人手不足からの勧誘という流れです。

・経験したボランティア。

町内会のボランティアが軸にありますけれども、高橋さんがおっしゃってた、スポーツボランティアは結構多かったです。

あとは学校関連の「親父会」や、車椅子の取り扱い等の存在そのものを知らないボランティアもありました。

・参加して良かったこと。

イベント参加者から「ありがとう」って言われることが、やはり1番になります。

私も行っている青少年指導員は小さい子に触れる機会が多いっていうのもあり、小さい子からの「ありがとう」は格別なものです。

ちなみに、数年前に当時参加した児童生徒の子達から、大きくなってから、「私のこと覚えてますか?」「あの時はお世話になりました」等、逆に声掛けを受ける事もあります。正直、「誰だっけ?」ってなりますが、その際も「やってて良かったな」と思う瞬間です。

余談ですが、昨日、私の長女が大学入試の面接が有り、その際、「父の手伝いで夏祭りの焼きそば販売のボランティアを経験しました」と発言したそうです。

合格したら私のお陰だなと思ってます(笑)。

あと知らないことを知る機会が増えたという点もあげられます。例えば、中学校のプールの水は、災害時のトイレの水に使うというのは、ボランティアをする事で知ることのできた貴重な経験でした。物事の裏側が知れるという事は、いい機会だなと思います。

あと、近所で、顔が売れたことによって、声掛けしやすくなったことも良い事として挙げられます。

・今後やっていきたいボランティアに関して

スポーツボランティア等の町内会に限らず、広域なボランティアに参加するのも良いんじゃないかなと感じました。

ボランティア団体がたくさんあることも理解しましたし、新しいボランティアはすぐに結成されるっていう事も、今日会話して得た情報でした。

あとは、傾聴ボランティア。施設等に出向いて、高齢の方のお話を聞くっていうのもあるみたいですし、高齢化対策としては、一部有償もあるようですが、高齢者の代わりに薬を取りに行くというのもあるようです。

・連合町内会や町内会に期待すること。

紙媒体が多いので、ウェブ活用等のデジタル化。掲示板そのものもありますが、もっと伝わりやすいものにならないか？という課題が顕在化されました。

次に、本日の参加者のほとんどが、いろんな役員を兼任されてる方が多いと思ってます。

複数の役職を兼務するのではなく、いろんな方に経験してもらうためには、どうすべきか？って事の議論が発散しました。

私は知らなかったのですが、町内会によっては、役員の活動支援がいろいろなカタチで行われているところもあるようです。笹下連合町内会として、このようなボランティアのモチベーションを底上げする考え方を整理してもらいたいです。有償ボランティアという考え方も今後は必要だと考えます。